

五 月 の 天 象

太 陽

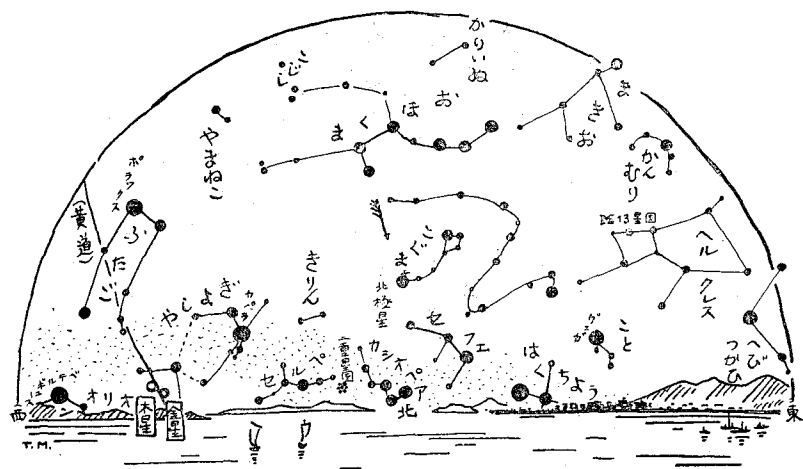
日	赤 經	赤 緯	視 直 經	星 座
1	2時31分50秒	北 14度56分	31分47秒	ひつじ
11	3時10分26秒	17度46分	31分43秒	う し
21	3時49分58秒	20度 6分	31分39秒	う し
31	4時30分26秒	21度51分	31分36秒	う し

月始めは金牛宮にあるも、21日から双子座に侵入する。

月

月 の 相	時 刻	視 直 經	星 座
上 弦	6日午前1時53分 6秒	32分19秒	か に
満 月	13日午前2時29分18秒	31分 3秒	てんびん
下 弦	21日午前1時21分36秒	29分37秒	みづがめ
新 月	28日午後2時36分36秒	32分 8秒	う し
近地点通過	5日午前3時48分	32分20秒	か に
遠地点通過	19日午後4時54分	29分33秒	や ぎ
近地点通過	31日午後2時36分	32分41秒	ふたご

今月の遊星歴訪は、先づ、2日午前2時に木星と出合ふ事から始まるが、日本から見えない。7日午前3時に海王星に追ひ附いてその北側を通るけれども、これも見えない。そして暫らくは遊星の居ない星空を進んで、17日午前1時に土星と出合ふ。これは見えるけれども兩者の距離が6度もあるので面白い景色ではない。そして24日午後5時に天王星の極く傍を通るのであるが、惜しい事には未だ月が東天に出てゐない。次いで25日午前11時に火星と出合つて、此れを掩蔽する。我國から見る事が出来るから都合はよいが、日中だから望遠鏡を必要とする。27日午後9時に水星と出合つて、その北側を通り、29日の午後7時には木星に追ひ付いて北側を通過し、最後に、30日午後4時に金星に追ひついてその北側を通つて今月の歴訪を終る。



恒星界

北斗が丁度横になつて、「りょう」がその下にうねつてゐる。「オリオン」は最早や、すつかり姿をかくして了つたが、まだ「こいぬ」丈が冬の名残を留めてゐる。併し、もう東の空には、そろそろ、夏の親玉の「こと」や「さそり」が顔を出し始めてゐる。今や、中天には「しし」「をどめ」「かみのけ」等の春の代表者が、おもむろに西に向つて進んでゐる。南方遙かには「うみへび」がながながと横たはり、その傍に「コップ」「からす」等が可愛い姿を見せてゐる。

天の河は殆んど、地平線に沿ふて流れ、僅かの一部分づつが見られるのみ。従つて可成り淋しく感ぜられるが、それでも一等星としては北に「おほくま」「はくちよう」、西に「ふたご」「こいぬ」、南に「しし」「をどめ」、東に「まきを」「こと」等の主星があつて、まばらではあるが、適當に全天に配布されてゐる。

手頃の望遠鏡で面白い星では、「まきを」座デ星の二重星は光度が3.5等と、伴星が7.4等で、對照が美しく、同座のμ星は7等と8等の光度の連星で、週期は約250年であり、兩星間の距離は1.6秒角であるから、8センチ望遠鏡の試験星として適當である。

